

Star Fish Journal

2012年9月アーカイブ

お堀端を歩く(2)

tsuji (2012年9月30日 12:56) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

整備されたこの日は静かな歩道にも桜が咲いている頃には人が行き交い、お堀の対岸に北の丸公園を目にしながら、騒がしい高速道路と、都会の喧騒と静けの両方を持つ千鳥ヶ淵から九段の方向へ。



この日はまだ夏の終わりという季節で暑く、喫茶店に入って、少し甘みがある冷たいマロンラテを飲んで休憩した後に、信号を渡り、靖国神社の境内へと入りました。



大体25軒ぐらいのシートを広げた人たちがフリマーケットで衣類やビデオなど売っていましたが、ちょうど放送がありこの日は片付け始める時間の様でした。



少し下る九段下駅の方には大きな鳥居もあり、そこからだと傾斜もあって先まで見渡せませんが、まっすぐに伸びる道が中門から拝殿へと来ています。鳥居が一つではなく幾つかある様です。

日本人がというイメージですが、歩いていると外人の方も割りと見受けられました。ニュースで取り上げられる、花の時期になど以外に、どういう人達が訪れるのかは、私もあまり詳しくないですが、能楽堂や相撲場もあり一般向けもあるのでしょうか。

カテゴリ

月別 アーカイブ

[2012年12月 \(3\)](#)
[2012年11月 \(6\)](#)
[2012年10月 \(4\)](#)
[2012年9月 \(6\)](#)
[2012年8月 \(5\)](#)
[2012年7月 \(6\)](#)
[2012年6月 \(7\)](#)
[2012年5月 \(4\)](#)
[2012年4月 \(6\)](#)
[2012年3月 \(6\)](#)
[2012年2月 \(6\)](#)
[2012年1月 \(8\)](#)
[2011年12月 \(9\)](#)
[2011年11月 \(5\)](#)
[2011年6月 \(3\)](#)
[2011年5月 \(1\)](#)
[2011年3月 \(1\)](#)
[2011年2月 \(4\)](#)
[2011年1月 \(7\)](#)
[2010年12月 \(6\)](#)
[2010年11月 \(4\)](#)

ウェブページ

 [このブログを購読](#)

POWERED BY

 MOVABLE TYPE®

検索

このアーカイブについて

このページには、**2012年9月**に書かれたブログ記事が新しい順に公開されています。

前のアーカイブは[2012年8月](#)です。

次のアーカイブは[2012年10月](#)です。

最近のコンテンツは[インデックスページ](#)で見られます。過去に書かれたものは[アーカイブのページ](#)で見られます。



道路を挟んで田安門から入るところの右手に見えた燈籠は靖国神社のものかどうかというの気が付きませんでした。



そこをくぐって北の丸公園へ入ると、武道館です。この日は武道大会が開かれていて、コンサートですとか、夜には分からないですが、髪や衣装を来た人たちでごったがえすほどではなかったです。



公園内は子どもと遊んでいたりと、芝だかクローバーで休日を過ごす親子連れも見受けられました。

混んでいるコンサートの帰りには使う反対側の入口の方へと進み、公園の敷地内にあると思われる、どちらかと言うと日本の展示が多く、現在は整備入れ替え中の国立近代美術館に出ました。このイベントは夜の割合と遅い時間帯からこの日はでしたので、歩いて少し疲れたので、そこまでは待てない感じでした。



夏の家、スタジオ・ムンバイの建築が入り口付近で行われていました。夕涼みする目的もあるみたいでホワイト・ラムとライムと鎌倉山で朝摘みしたというモヒートのハーブカクテルで座って、何話か分からない女性同士の話や、神奈川の方かららしいひとたちの店の話などの雑談のなか、お酒の容器は小さかったのですが、長く歩いた一日を見たりして、地下鉄に乗り帰るまで、割りときと長く休みそちらに佇んでいました。

緑の回廊

tsuji (2012年9月27日 16:42) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

広い森の自然を歩くには、そこへ入るための入口にたどり着かなくては いけません。
利根川を渡り、小貝川までは行かなく、そこ上の方の鬼怒川に挟まれた森の散策路です。



住宅と森との間で駐車場と入り口を探し、小さな川を渡り、道を信号のあるところまで少しもどり先の方まで行きました。
スーパーで買って、レジの人に聞いてみても地元の人間でないの、詳しい人に聞いてみると、並んでいる人がいるのでいいと言って、茨城のガイド持っているのに話しかけづらい人もいました。保健センターが隣にあり住宅地図など見てもらい、丁寧にメモをもらい、屋の店なども教えていただきました。路駐とか道沿い**電子に車を止められるとかです。



(これは森の中へ開発？)

帰りに**電子の表札はあったのですが、上に看板や店舗の佇まいはなかったです。



中学校の横、電気の工務店の奥にたぶんここ用の駐車場があり、そこへ入っていく脇道も駐車禁止の標識はありませんでした。

守谷野鳥の森散策路の中の涼しい道で100種類以上いるという鳥の声を聞いたり、前日やこのところの雨の合間の日にリフレッシュできそうなところでした。鳥を観察するために何時間も待ったり、双眼鏡で木々の間を隈なく探すといった作業もいるようでした。



様々な虫たちや水辺の小動物を見かけました。鳥は時間の関係でしょうかそれほど見られなかったのです。小さな鳥の資料館を、足立ナンバーの小さな配達車も配達先を探していたようですが、見つけた時もドアのところで音がして振り向くとスズメバチでしたので、近くに巣があったりすると思い、中に入りドアを閉めました。



ひなを拾ってはいけない、巣から落ちてても親が見張っていて餌をあげていて、人間が持ち帰ったり匂いをつけたりしてはいけない旨が書かれていました。この鷹か、若くてどこか怪我をしてしまっている様ですが、人がどのような場合に助けるのか、自然への返し方などはあるようです。



それから、住宅との堺にある畑や湿地帯を抜けて
いきました。



歩いて行くと守谷城に出て、敷地内を見て
回りました。かわうそ弁天と、横から見た
のでそうなのかわかりませんでしたが、
かわうそはいないと思います。城址でカエルや
水に小さなメダカや他の速い小魚がいました。
この辺りでは少し散歩の人にすれ違ったり、
子どもと網とプラスチック製水槽を持った
お母さんが来ていました。ここですとかこの
辺りには、平将門に由来するお城ですとか、
お寺もある様ですが、荘園の頃から長く管理
していた相馬氏が将門をルーツだとしてる様です。



歩き疲れたので、座って飲んだり読んだり、
休みたかったです。城の外側ではベンチが
無防備に感じられ、中側では蚊に襲われて
だめでしたので、この後も自然の中を引き続き
歩きました。来た同じ道に戻ってしまうと、
迂回して、住宅との間の舗装されていて
日の照り返しが暑い道を進み、車での往復
より長い時間歩き、帰って行きました。

メルヘンな田園風景と制作

tsuji (2012年9月20日 09:21) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

アンデルセンと言えば童話というイメージでした。



そこからもここでは、子どもや親子連れが目立
ったかなあと、やはり思うのですが、童心に帰る
というより、大人としての作品をその考えから
やってみるのがあります。



太陽の橋を渡りイベントドームの方になぜとい
うことはないのですが、到着した時には、
ひょっこりひょうたん島をやっていて、これから
のコンサートの案内を前列右から3番め目の女性
がして(そのMCの場面を撮った写真では右隅から
全員写っていたかかは不明です)、最後の曲と言
って**[パイレーツオブカリビアン\(未確認\)を演奏](#)**
しました。

I wouldn't find the name of this song without
recourse to abundance of your knowledge. Send
it and some other opinions to yearn@melotone.net
Visitors from the whole world are not admitted
to a site for commenting on my articles.
聞いたことがあり、覚えている曲ですが、どの
映画や場面で聞いたのか、調べてみましたが、
分かりませんでした。つまり、教えてくれると、
いうことです。

客席からの拍手もあって負けないで(ZARD)が
アンコールで演奏されました。船橋吹奏楽団

お陰様で、**[演奏しているところ](#)**を見れました。
ありがとうございます。
自分で検索してみると出てきます。
履歴やクッキーでしょうか。消しやってみます。
探し方が悪いのか、写真は検索できても途中
の音や映像はどうでしょうか。



メルヘンの丘や花の城、ちょうど刈り入れ間近の棚田など手入れをしている人たちもその時にいたかなり広大な敷地内からは粉ひき風車が見られました。中は展示で、挽く作業はどうかは分かりません。



童話館では、姉妹都市やアンデルセン、彼の童話などを知ることができ、童話の本もたくさん置いてありますが、お姉さんが読んで聞かせてくれるのもあり、子供達が奥の部屋に座っていました。



やはりと、懸念に思った駐車料金や入場料は、年間パスポートの申し込みをこの建物でしていて、かなり安く、船橋ならもつとで、それもあり、休みの日によく訪れる場所になっている様でした。



レストラン・メルヘンでは室内が混み合っていたので、外の木製のテーブルでデンマークランチを頂きました。ビールやドックなど国オリジナルも味わえる売店もあります。



ボートハウスから太陽の池の畔を歩いていると、ハラビロカマキリがいて、後から歩いてきた人に踏まれてしまいそうでした。秋を思い浮かべる虫ですが、彼女(だと思いますが)通行人がバツが(餌)とか実際のサイズからも勘違いしやすいですが、潰されないように「森に」逃がしてあげようとして、お尻を立て怒りました。そうやっているのと登ってきました。子供の頃よく見かけたのは、カブトムシが食事する処などで、樹液を吸う蝶などもたべたりするところや上で、木のぼりが得意です。



南に車は止めてあったので、北ゲートの付近にある平和を叫ぶ像は、順々に園内を回りながらには行けず、そこまでまた行きました。岡本太郎制作です。園内に入場する時に目にするシンボルにしていらないのでしょうか。内側の方を向いていて、私たち公園内の人々の方を見守り、言葉を発している様に感じました。



ふなばしアンデルセン公園は様々な体験型ゾーンで楽しめます。主に子供向けというか、満員の時には、大人は遠慮という感じと後の織りのアトリエでは聞きました。版画のアトリエではブックカバーを手作りし、そこに押すハンコ作り、作り方など従業員(というの?)に丁寧に教えてもらい、楽しかったです。紙にビニールカバーをかけるものでしたので、バックやTシャツなど布にすれば良かったですが、印鑑は持ち帰り可能でした。



子供向けであっても、自由な発想での制作体験を
でき、大人でももしかしたら子供の発想よりも
うまくいって、今度訪れても楽しく1日過ごすこ
とのできる本・音楽(持ち込みも)やアトリエ、
季節ごとの自然がありました。

守りから攻撃に転ずる

tsuji (2012年9月15日 14:37) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

試合は初回から動きがありました。



内野ゴロの間に先制。
マーTONのタイムリー二塁打で2点めです。

この3点目はどうかの頃から、弁当を開けて海苔をかけ
食べ始めました。まだ1回の表でしたが
試合開始ぐらいからビールを売りに来たので
買い、ちょうど裏の1番長野の頃に食べ終わり
ましたが、ピンチの場面からでしたので、
ご飯とおかずの写真を写すのを忘れてしまいました。



小石川後樂園から歩いて来た後に、ドームの正面で
一休みして、知らない事など考えながら、この日は
その22から入り、座席を確認し、お弁当を選びました。

かしわ飯を今まで食べたことがありませんでした。
売り場の人にどのようなものか、聞いたのですが、
九州出身では無かったようで、よく分からない様子
でした。メニューにどんなものが入っているか
など、聞きに行ってくれたりして、購入しました。
木の葉や地元の方でなく鶏の炊き込みご飯でした。



この後阪神ファンや巨人ファンとの会話があって、6回の裏に矢野の内野ゴロの間に阿部がホームに走りタイミング的にはアウトでしたが、キャッチャーの小宮山がボールを落としてしまいました。アウトのタイミングでスライディングをするタイミングではなかったので、セーフには出来ず、タッチされてアウトでした。まだ、0-2のままです。



次の回にこの試合のポイントが訪れます。ワンアウト3塁から試合の流れを変えたかもしれないプレーです。阪神のリリーフ陣が今年はどこまで鉄壁かまで確認していませんが、終盤3点あれば勝てると踏んで取りに行ったのでしょうか。キャッチャーへのファウルフライでランナーもスタートしていたためダブルプレイでした。

その裏、谷が2塁打で出塁し寺内を挟み、長野が四球を選び同点のランナーが出塁しました。藤村の内野ゴロは当たり的にはでしたが、走りダブルプレイでインニング終了を免れ、2人ランナーを残して、坂本が打席に入りました。ここまで無失点の先発岩田との場面は：

[ちょうど動画を撮っていました。](#)



右隣に座っていた2人はどういう関係なのかまで分かりませんが、長野のユニフォームで坂本のタオルを持った女性の方は話すと中国人ということで、すごく日本語がうまく、阿部のユニフォームを着た男性が中国に出張する時にいつも通訳をしてもらっていると言っていました。

左隣の親子は阪神ファンで、高1の彼は、藤川に憧れてファンになったということでした。来年、メジャーに行く噂されているので、もう見れないかもしれない、この日も登場を願っていました。関東在住で、まだ甲子園球場に行ったことはないそうですが、もう少しで大人ですので、関西やアメリカまでもいけるのではないのでしょうか。



杉内の後、山口、西村と今年の投手陣は充実しています。阪神が勝っている場合はここではレフト側から後1人、後1球の応援がありますが、この場合は、新井貴が2アウトの打席で、ウェイティングサークルに背番号6が控えています。



お堀端を歩く(1)

tsuji (2012年9月13日 16:59) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

人の流れは同じ方向へ走り、違う歩く人はいますが、逆ということもありません。車の流れはどうなっているか、写真では木の右側に集中していますが、イギリスやオーストラリアなどと世界的に見ればマイノリティーの左に属しています。



信号待ちをしているのも事実で、もし、たくさんなければ、昔の首都高の様にカーレースが始まることも考えられます。人の方は信号がないので、部活とかで、タイムや順位を競う一団もあります。



とりあえず、桜田通りから来て道の反対側を進みました。



この女性だと思いますが、銅像は裁判所の敷地に属するものなのか、この日は入り口が閉まっていた。裁判を直に見たことはないのですが、もちろん傍聴席はあっても見世物ではないので、土日は(多くの会社や公務員と同じで)休みなのか、今度調べてみます。



この辺は、食事処があるのか、あってもサラリーマンがいない日には、半蔵門駅の辺りにはあるかもしれませんが、事前にアロワナがいる店でエビの(チリではない)中華を食べました。水辺にいる昆虫を落としたり、小魚を食べるイメージはありましたが、海老も食べているんだろうかと思いました。国立劇場の食堂や売店で人がたくさんいて(事前には知らなかったのです)、見つけた空いていた外の椅子に先に座った(座られた)2人のレディーの1人は英語で話さなく、日本語がすごく出来ました。菅原伝授手習鑑の世界の展示を見ることができました。



半蔵門は閉じられていて、中は一般の無料エリアでないというか、住んでいると思います。そこから左の公園で、すれ違うのに声を掛けたりした人もいましたが、短パンとショートスリーブでベンチに座っていて、蚊がとかちらが言いましたが、フランス語しかできないそうでした。



眠っている人や終戦の日だからとも考えられ

ますが、靖国神社へというのは(真面目な話)
日本人の間でも、かなり割れていることです。
平和のために、戦争で傷ついた人を偲び、
これから起こさないためにと考え感じる人
もいて、私は行くなら(もちろん桜の開花
基準に使われるので花を見るのにも)、
千鳥ヶ淵まで来て、そこから歩いて行けば
と思っていたのでこの日は、そちらにも
足を運びました。



お参りをした後に、人とクレーンみたいのが
少し気になりました。
床を拭いたり幕で掃いている人に聞くと工事は
納骨堂を増築しているそうです。
子供を指導する姿も見られましたが、
この旗はよく分かりませんでした。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑を出てから、
水鳥がいたので見ていたという中学生ぐらいの
女の子2人と1艘のボートに乗り近づいてきた
おじさんたちと、時期的にどちらかと言えば
寂しいボート乗りのこの辺で立ち止まり、
少し後で休み、先まで歩きました。

黄昏の空

tsuji (2012年9月 6日 15:42) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

現在の一人歩きよりは
戦乱のが収まりつつある(1603)といっても
大阪に居住している人に襲われて
命を落とすかもしれない訳です。

実際に夜に襲われた人もいるわけですから。



この城は調べてみるとそれ以前からもあって、
息子の織田信忠は移り籠城して戦い奮闘しましたが、
討ち死にして、城も灰に帰したとありました。

明智光秀に襲われた時に、信長は堀もない
本能寺にいて、どうして京都に滞在する
時には、安全な場所に泊まらなかったのか
気になりました。2条の辺でしたら、
死ななかつたり、襲われなかったのでしょうか。



関ヶ原の戦いの後に家康が
西国諸大名に造営費用および労務の割り当てを行い
整備したのが(幕府に)二条城と呼ばれ、
将軍就任など朝廷との関係でも使われた様です。



室内の装飾もあらゆるジャンルを手がけた
職業画家集団の狩野派の障壁画に彩られています。





二条城だけを見ても900点以上あるようです。



徳川秀忠の娘、和子は後水尾天皇に嫁ぎ、朝廷と関係を深めることになり、その後水尾天皇の行幸の時や、後に徳川家光が入城します。



その後、徳川家茂や慶喜が上洛に使った幕末まで230年間も二条城はどうしていたのかという辺りが良く分かりません。江戸東京博物館で開催されている二条城展の展示も、その2つの期間が中心でした。



東福門院和子の娘が明正天皇となりますが院政や女系ということや徳川の影響力はどうか。江戸時代を通しての朝廷との関係が良かったのかは分からないところです。



実際、関東在住の一般の人や若さまは出歩かなかった
ということはないでしょうし、出先や京都に来ても
どんなものを食べて、泊まるのはどうしていたので
しょうか。将軍になれば、勝手に1人でぶらっと
上洛とは、暗くなれば、写真がなく本人と分から
なくても、襲われてしまうでしょうし、敵や盗賊に
接しない様にプライベートジェットで制空権の
ある空を飛ぶことができたらどうだったでしょう。



私には何に見えるかはっきりとはしませんが、
まだ夕暮れが迫る前の空を、一匹のドラゴンが
といって3、4人の女性がみんなで携帯カメラを
掲げていました。京や江戸の空には、そこはどんな
ものが支配して、下にせわしく生きる人たちはどう
見えているのでしょうか。それは想像上の動物であり、
人がどう見えたかというのも想像なのですが。

[« 2012年8月](#) | [メインページ](#) | [アーカイブ](#) | [2012年10月 »](#)

Powered by [Movable Type](#)